

## 菅野富茂さん瑞宝双光章 来庁して受章を報告



勲章と賞状を掲げる菅野さん。右端は五賀和広相馬地方広域消防本部長、左端は横山義幸同飯館分署長。

第41回危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章を受章した菅野富茂さん(伊丹沢)が、12月5日、受章報告に来庁しました。菅野さんは、相馬地方広域消防職員として42年間にわたり奉職。早期復興を目指す管内の防災力強化に力を尽くしました。菅野さんは、11月13日に東京會館(東京都千代田区)で鈴木淳司総務大臣(当時)から伝達を受け、皇居にて天皇皇后両陛下に拝謁したことなどを報告。「上司・先輩・同僚・後輩さらには消防団はじめ地域住民の支援のおかげ。受章に恥じない人生を歩んでいきたい」と感謝を述べました。

## 復興創生専門員 万福さんへ 村から感謝状を贈呈



「新しい知見を学び関わるのが職員の財産となります」と杉岡村長がこれまでの功績に感謝を伝えました。

11月30日、飯館村復興創生専門員を務める万福裕造さんへ感謝状を贈呈しました。万福さんは震災後、農水省職員として村役場飯野支所に駐在。平成29年からは農研機構(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)上級研究員となり、大火山の太陽光発電事業や蔵平の木質バイオマス発電施設整備事業、長泥の環境再生事業などに、専門的な視点から助言をいただきました。万福さんは「これまでの経験を生かし支えになれるよう努力していきたい」と復興に寄与する決意を語りました。

## 大林・東亜・大本JV 交通安全活動に村から感謝状



林副支店長(前列左から2人目)をはじめとする大林組の皆さん、飯館村交通対策協議会の代表らが出席。

12月14日、村は「大林・東亜・大本特定建設工事共同企業体(JV)」に感謝状を贈呈し、令和2年から今日までの交通安全活動に謝意を伝えました。環境省が発注した長泥地区環境再生事業盛土等工事に携わってきた同JVは、カーブミラーの拭き取りや交差点での呼びかけなど、企業体内はもとより村全体の交通安全活動に取り組んできました。贈呈式では杉岡村長が「村民を代表してお礼を申し上げます」と述べ、大林組東北支店の林圭一副支店長に、感謝状と村製品の記念品を手渡しました。

## 鳥獣対策講習会 村の事例を踏まえ対策を講習



写真や図を示しながら解説する鉄谷さん。参加者もさまざまな疑問や課題について積極的に質問しました。

12月7日、交流センター「ふれ愛館」で、『鳥獣対策講習会』を開催しました。今年度2回目の開催です。福島県避難地域鳥獣対策支援員で広報紙に「イノサル通信」を執筆している鉄谷龍之さんが講師を務めました。講習会では、村内で見られる動物とその被害に関する具体例を見ながら、被害を防ぐための柵の設置方法や管理の注意点を確認しました。また、鳥獣対策の考え方を共有し地域全体で取り組むことの重要性などを教えていただきました。

## 年末年始に向けて 事件事故防止キャンペーン



村内事業所に加わり、大林組の皆さん(上の記事を参照)もハンドプレートで交通安全を呼びかけました。

12月14日、『年末の事件・事故防止に係る街頭キャンペーン』を実施しました。キャンペーンには、南相馬警察署、飯館村防犯指導隊、南相馬地区交通安全協会飯館分会、飯館村交通指導隊など関連機関の皆さんが集まり、村内事業所も参加しました。防犯意識を高めていただく啓発グッズの配布はいいたて村の道の駅までい館や金融機関で、交通安全の呼びかけは県道原町川俣線で行いました。年末年始は犯罪や事故が増加する傾向にあります。声を掛け合い、警戒や対策を心がけましょう。

## 子育て支援センターで ベビーマッサージ教室



講師の瀧野さん。



ほんわか暖かな部屋で照明を少し弱めて…ママも赤ちゃんもリラックス。ゆったりとベビーマッサージを体験。

12月14日、飯館村子育て支援センターで、『ベビーマッサージ教室』を開催しました。講師は福島県助産師会の瀧野ゆかりさんです。教室は、ママのストレッチからスタートし、スキンシップの大切さや効果などを教わりながら、4組の親子がベビーマッサージを体験しました。体験の後には交流の時間が設けられ、打ち解けておしゃべりを楽しんだ皆さん。「母子共に気分転換になりました」「また参加したいです」と笑顔で話していました。